



2026 年 8 月 26 日

株式会社アイリッジ

株式会社オルクストラ AI

国内初、「AI の確認疲れ」を自動解消する AI 運用基盤「Flauro（フラウロ）」を正式リリース

使い心地はそのままに、より安全に、より賢く。実利用ログで AI 利用費 約 15.4 分の 1 を確認

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）と連結子会社で AI プラットフォーム事業を展開する株式会社オルクストラ AI（本社：東京都港区、代表取締役社長：古木 敬人、以下「オルクストラ AI」）は、2026 年 8 月 26 日、国内初^{※1}となる HITL（Human-in-the-Loop）自律学習技術を搭載したエンタープライズ向け AI 運用基盤（AI オーケストレーションプラットフォーム）「Flauro（フラウロ）」の提供を開始することをお知らせします。

※1) 複数 LLM の自動ルーティングと、承認・修正等の業務フィードバックに基づく HITL 適用条件の継続最適化を一体化した企業向け AI 基盤として（2026 年 8 月時点、自社調べ）

Product | Flauroで、何が変わるのか



いままで



AIの成果物を、人が全件チェック
どの作業も、高性能モデルで処理

→ 確認疲れ・膨らむAI利用料



Flauro導入後



人が見るのは、重要な確認だけ

人が見るべきところだけ、人が見る。

AI利用費 約15.4分の1

※実利用ログ6,540件・高性能モデル全件処理との比較

■ 新たな経営課題：「AI の確認疲れ」と膨らむ AI 利用料

生成 AI を業務に導入した現場では、AI が作った文書・コード・判断を結局すべて人間が読み直し、確認待ちが積み上がることで、担当者の業務は AI 導入前より逼迫する事態が起きています。効率化のために入れた AI が、「全件目視確認」という新しい仕事を生んでいます。

コスト面でも、どの処理にも高性能・高価格なモデルを使い続けた結果、月次の AI 利用料が予測不能に膨らむ企業が増えています。業務内容に応じて AI を適切に使い分ければ、品質を保ったまま利用費を大きく抑えられることも、オルクストラ AI の実測調査※2 で確認されています。

※2) 出典：オルクストラ AI WhitePaper「安いモデルはどこまで使えるか」（2026 年 9 月公開予定）。クラウド上の 40 モデルを対象に、業務 25 ケース・2,840 回の実行で品質と費用を比較した実測調査

共通する解決の鍵は、どの AI に／何を／どこまで任せるかを、仕組みとして設計できるかどうかです。



使うほど、企業の仕事の進め方に合ったAI運用へ近づく

HITL=Human-in-the-Loop（人の確認を業務の流れに組み込む仕組み）

■ Flauro が解決できること

Flauro は、複数の LLM や AI エージェントを、企業の業務で安全かつ効率的に利用するための AI 運用基盤です。利用者は使い慣れたツールの操作を変えずに、Flauro が依頼内容に応じて AI を自動的に使い分け、コスト・品質・安全性・事業継続性をまとめて最適化します。主な機能は以下の通りです。

・使い方を変えずに、AI を自動ルーティング

Visual Studio Code などの開発環境で利用する Claude、Roo Code、Cline 等と組み合わせて、従来の操作を大きく変えずに利用できます。利用者が AI へ指示を出すと、Flauro が依頼内容やリスクを判断し、適切な AI モデルや推論経路へ自動的に振り分けます。裏側でモデルが切り替わっても、利用者が毎回設定を変更する必要はありません。

・作業内容に応じて、最適な AI を使い分け

簡単な整理や変換には低コストで高速なモデル、一般的な開発には標準モデル、複雑な設計や重要な判断には高性能モデルを優先します。トークンの量ではなく、作業内容、品質基準、リスク、過去の評価結果を組み合わせ、適切な AI の使い方を判断します。

・人と AI の役割分担を企業ごとに調整する「HITL 自律学習」（特許出願済）

定型的な情報整理は AI が自動処理し、重要な設計変更や本番環境に関わる作業は人が承認する、といった役割分担を企業ごとに設定できます。企業の規約、過去の判断、品質基準、日々の業務データをもとに、AI へ任せる範囲と人が確認する範囲を継続的にチューニングします。認証、課金、本番環境などの高リスク作業は、人の確認を含む安全な流れへ切り替えます。

・一つの AI に依存しない、事業継続に強い基盤

複数の AI サービス、モデル、推論経路を組み合わせられるため、特定サービスへの依存リスクを分散できます。利用中のサービスに障害が発生した場合は、設定条件に応じて、同等の品質基準を満たす別のサービスやモデルへ自動的に切り替えることも可能です。

・AI へ送る前に守る、セキュリティとガバナンス

個人情報や、API キーなどの認証情報を、LLM へ送信する前に自動で検出し、マスキングまたはブロックします。利用できるリージョンや推論経路の制限、権限やデータの取り扱いも共通ポリシーとして適用でき、安全に AI を利用するためのルールを、利用者任せにせず基盤側で運用できます。

・利用状況・費用・判断過程を一元管理

利用者・案件・組織単位のアクセス管理から、モデル選択、利用量・費用の可視化、予算上限の設定、監査ログの記録までを一元管理。AI の利用状況と投資対効果を、定量データで確認できます。

■ 実際の利用ログで確認した費用差

2026 年 8 月 10 日から 8 月 25 日までの実際の利用ログ 6,540 件を集計した結果、Flauro によるルーティング利用の実績料金は 232.51 米ドルでした。同じリクエストをすべて高性能モデルで処理した場合の試算は 3,581.45 米ドルとなり、約 15.4 分の 1 の料金となる結果を確認しました。なお、この数値は特定期間・特定利用者のログに基づく比較であり、効果は業務内容、入力の高さ、利用モデル、再実行の有無、人の確認、契約単価などによって変わります。

■ 今後の展望

Flauro は、AI を人の代わりにするための仕組みではなく、人と AI が、それぞれ得意な仕事に集中するための仕組みです。オルクストラ AI は、アイリッジが大手企業向けの大規模アプリ受託開発支援などを通じて 10 年以上培ってきた顧客接点のデジタル化ノウハウと、上場グループの一員としてのガバナンス体制を強みとしています。今後も「Flauro」の提供を通じ、単なる AI ツールの導入にとどまらず、お客様自身が AI を主体的に指揮（オーケストレーション）し、安全かつ効率的に業務へ組み込める環境の構築を支援してまいります。

株式会社オルクストラ AI 概要 (<https://orkextra.ai/>)

株式会社オルクストラ AI は、AI オーケストレーションプラットフォーム「Flauro（フラウロ）」の開発・提供と、企業の AI 導入を支援するコンサルティング・実装事業を展開しています。アイリッジグループの豊富な DX 推進・アプリ開発ノウハウを掛け合わせ、複数 AI モデルの最適な使い分けや、人間と AI の

協働による高度な自動化を実現します。セキュリティ要件の厳しいエンタープライズ企業に対し、企画から業務組み込み、運用統制までを一気通貫で支援し、AI 活用の最適化に貢献します。

株式会社アイリッジ 概要 (<https://iridge.jp/>)

株式会社アイリッジは、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO（Online Merges with Offline）支援を軸に、リテールテック、フィンテック、MaaS 等の DX を推進しています。アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」をはじめ月間アクティブユーザー数 1 億超のプロダクトを提供するとともに、グループ会社の Qoil と連携したビジネスプロデュースにより、戦略立案から開発、マーケティング施策までを一気通貫で支援します。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アイリッジ 広報担当 Email：pr@iridge.jp TEL：03-6441-2325